

会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和5年(2023年)5月26日 開会9:30 閉会11:25		
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校 会議室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古平恒雄、小久保貴史、土子光之、山口里香、鮎川誠 秀峰筑波義務教育学校： 校長 永田孝男、副校長 村田健一 教頭 小神野則子、小河原一幸 教務主任 鬼澤博之、永岡歩美		
	その他			
	事務局	次長 坂田博之 学び推進課：参事 山田聡 生涯学習推進課：課長 澤頭由紀子、係長 飯島遊、社会 教育主事 渡邊亮太、社会教育主事 村上和宏、地域連携 教育指導員 酒井和宏、地域連携教育指導員 小島健		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校運営の基本方針について 2 学校の教育活動の紹介 3 熟議「秀峰筑波義務教育学校の今の子供はどのように見えていますか」 4 その他(推進会議の今後の予定)		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会 議 次 第	1 開会 2 選任通知書交付 3 挨拶 4 説明事項 つくば市のコミュニティ・スクール導入について 5 座長・副座長の選出			

6	協議
	(1) 学校運営の基本方針について
	(2) 学校の教育活動の紹介
	(3) その他
	・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について
	・授業参観
7	閉会

〈審議内容〉	
1	開会
2	選任通知書交付
3	挨拶（自己紹介）
4	説明事項
	「つくば市のコミュニティ・スクール導入について」
	（社会教育主事 渡邊亮太）
	・学校と地域を取り巻く課題の複雑化・多様化の進行、VUCA
	・課題解決につながる教育改革と地域創生
	・コミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働活動を一体的に推進することで、「地域とともにある学校づくり」、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す（教育大綱の指針より）
	・学校・保護者・地域の重なり合う部分にある学校運営協議会
	・コミュニティ・スクール運営のために備えるべき3つの機能
	①熟議を通して考えを共有 ②協働 ③マネジメント
5	座長・副座長の選出
(1)	座長 古平恒雄様、副座長 土子光之様に決定
6	協議
(1)	学校運営の基本方針について（校長 永田孝男）
	・グランドデザインについて
	・秀峰筑波義務教育学校の3つのプロジェクト
	①学ぶ力プロジェクト
	②つながるプロジェクト
	③豊かな心プロジェクト
(2)	学校の教育活動の紹介（教務主任 鬼澤博之）
	・児童生徒の様子について
	・教育活動について
	①これまで実施した行事について
	②今後実施予定の行事について
	・授業改善について
(3)	熟議「秀峰筑波義務教育学校の今の子供はどのように見えていますか」

- ・職員のキーワードは「つながる」としている。子供たちと、職員と、保護者や地域とつながることがねらい。学区内には、3世代の家庭が多い。子供たちがのびのびしていて、純朴な子供が多い。つくば市中心部とは異なる実態。児童生徒が地域に出ていく機会を増やしたい。（村田副校長）
- ・子供がいない。地域の祭りで太鼓の練習をやろうとしても80世帯中にもいない。遊んでいる子供もいない。現在の中学生は落ち着いている。小学校の学級崩壊のほうが話題になる。見方は様々ある。今の子供は、周りの様子をとても気にする。意見があっても言えない。良い面とそうでない面がある。コミュニティ・スクールは有効である。（鮎川委員）
- ・奉仕作業があるが、地域に子供が何人いるかが分からない。以前は、ごみ拾いなどに地域の人と子供と一緒に活動していたが今はそれが難しい。先生を借り出したら働き方改革に差し障る。地域の保護者は休日として休みたい。やりたいことと、実態に矛盾が生じてしまう。（山口委員）
- ・昔に比べると、今の子供は忙しい。休みの日に、家族でどこかに行こうとしても、（中学生は）土曜日は部活動、日曜日は課題をやるなどになってしまう。（小神野教頭）

(4) その他

- ・授業参観
- ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について
→次回は8月24日の開催。午前中の開催は、参加者の仕事の都合上難しい場合があるため、午後、夕方の開催にしたい。スクリレで予定を配信。

7 閉会

令和5年度

第1回 秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和5年5月26日（金）

9：30より

場所：秀峰筑波義務教育学校 会議室

次 第

1 開 会

2 選任通知書交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクール導入について

5 座長・副座長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動の紹介

(3) その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

・授業参観

7 閉 会

第1回 コミュニティ・スクール推進会議 公開授業一覧

2023/5/26

番号	授業者	年組	場所	教科・領域	単元・題材名
1	柳林 由乃	ポプラ1	教室	生活単元	トマトのパッケージデザインを考えよう
2	岡野 政子	ひまわり3	教室	算数	小数のかけ算 円の面積
3	松村 和	ひまわり2	教室	自立活動	目指せ！パソコン名人
4	染谷彬大	3年3組	教室	図画工作	ふくろの中には、何が・・・
5	石井玲奈	3年2組	教室	社会	市の様子
6	清浦孝予	3年1組	教室	国語	ローマ字をおぼえよう
7	金子 知之	通級指導教室	教室	自立活動	デジタルツールを活用しよう
8	飯島 佳奈子	5年4組	教室	国語	動物たちが教えてくれる海の中のくらし
9	大山 秀美	5年3組	教室	理科	植物の発芽と成長
10	渡邊 功起	5年1組	紫峰ホール	体育	運動会のダンス
11	嶽本 雄太	9年4組	第2理科室	理科	仕事とエネルギー
12	直井 誠	7年1組	第1理科室	理科	いろいろな物質
13	石黒 葉月	5年2組	音楽室	音楽	リコーダー
14	栗寄藤夫	9年2組	教室	英語	Let's Write 1 有名人への手紙
15	矢口 雄大	9年1組	教室	数学	単項式・因数分解
16	吉原 久美子	7年3組	教室	国語	文学一「飛べ かもめ」
17	飯泉 俊哉	7年2組	教室	英語	Unit 2 Our New Teacher

座長

永田 孝男	鮎川 誠	大塚 雅夫	遠藤 知昭
村田 健一			山口 里香
小神野 則子			土子 光之
小河原 一幸			小久保 貴史
鬼澤 博之			飯村 仁
永岡 歩美			古平 恒雄

飯村 仁
委員

通知書・委嘱状
交付場所

坂田次長

座長	副座長
----	-----

PC・モニタ等

ホワイトボード

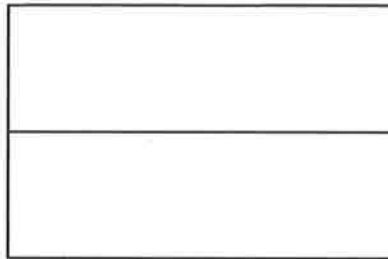
山田参事
坂田次長
澤頭課長

出入口

演習室

鬼澤教務

小久保貴史



姓川 誠

小神野教頭

小河原教頭

永岡教務

山口里香

土子光之

大塚雅夫

飯村 仁

永田校長

遠藤知昭

古平恒雄

村田副校長

山田参事

坂田次長

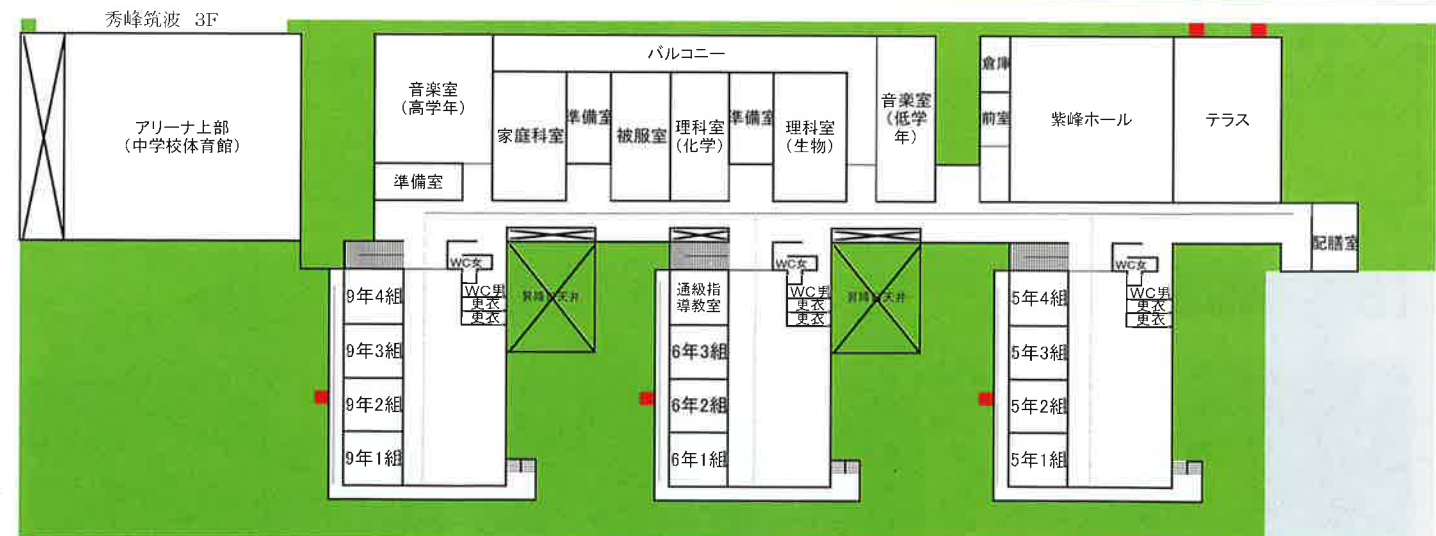
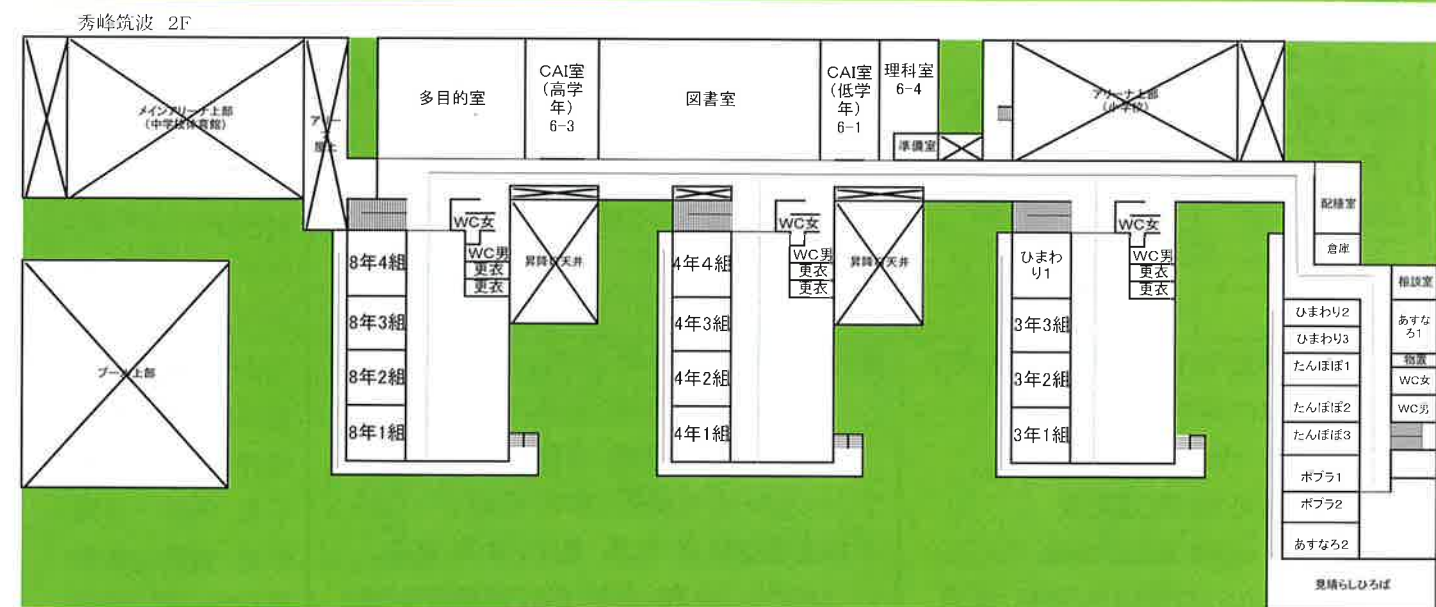
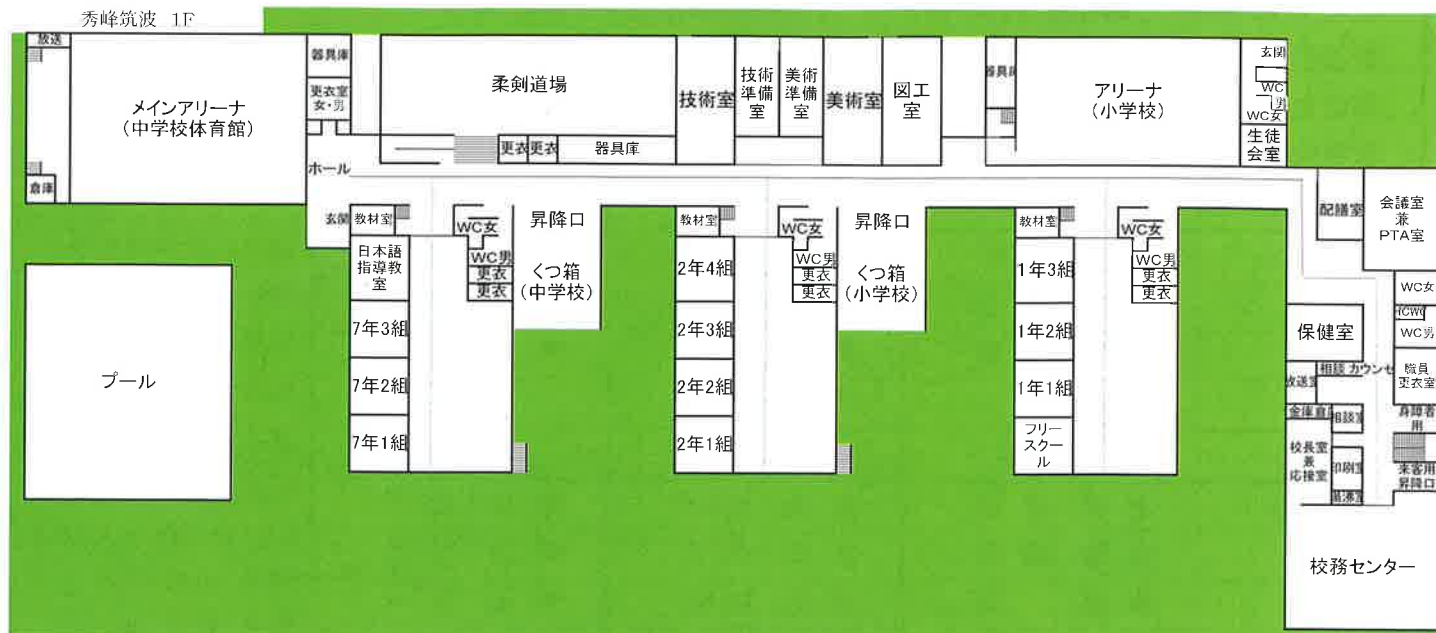
澤頭課長

PC モニタ等

ホワイトボード

出入口

< つくば市立秀峰筑波義務教育学校・校舎平面図 >



2023年度 学校要覧

つくば市立秀峰筑波義務教育学校

学校教育目標

自主・友愛・協創の精神にあふれる人材の育成

めざす児童生徒のすがた

高い志と広い視野をもち、郷土の未来を拓く活力ある児童生徒



自主 友愛 協創

〒300-4231 茨城県つくば市北条 5073 番地
TEL : 029-846-2611
FAX : 029-867-0066
MAIL : shu01@tkb.ed.jp
URL : <http://www.tsukuba.ed.jp/~shuho/>

秀峰筑波の教育



確かな**学力**のために

- 「主体的・対話的で深い学び」を推進します。
- 授業全体のユニバーサルデザイン化を進めることで一人一人を大切にする教育を推進します。
- GIGA スクール構想で整備された1人1台端末の積極的な利活用による双方向な学びを推進します。



豊かな**心**育成のために

- 道徳教育の充実を図ります。
- 望ましい人間関係育成のため1～9年生によるクラスター制を推進します。
- 特別活動を充実させ、児童生徒の主体性を伸ばします。



健康、**体**力向上のために

- 業間体育や体育的行事の工夫を通して、体力・運動能力の向上をめざします。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」などの良い生活習慣の確立に努めます。
- 正しい知識・正しい情報をもとに正しく判断ができる児童生徒の育成を目指します。(地域の実態に即した避難訓練の実施)

9 学年 3 ブロック制

前期ブロック

夢を描く

学習習慣を身に付け、仲間づくりに取り組む時期です。学習との出会いの場面で、「学ぶ楽しさ」、「わかる喜び」を引き出すことで、学習への興味・関心やチャレンジする意欲につなげ、将来の夢を育てます。

中期ブロック

目標を掲げる

自分のよさに気付くとともに、そのよさを生かして地域に貢献することで、よりよい人間関係を築く力を身に付ける時期です。基礎・基本の定着を図りながら、学んだことを活用し豊かに表現することで、自己肯定感を高めます。

後期ブロック

大志を抱く

自分らしい生き方・在り方について考え、確かな自己実現に取り組む時期です。獲得した知識を活用するとともに、応用力を高めていきます。また、課題の解決に必要な思考力・判断力・表現力を伸ばします。

学級担任制

学級担任制・教科担任制

教科担任制

1年生から9年生までの子供たちが同じ学び舎で過ごすメリットを最大限に生かし、9年間の系統的な教育活動に取り組みます。

秀峰筑波のチャレンジ

クラスター制

クラスターとは集団のことです。学校教育目標にある「自主」「友愛」「協創」の下に1～9年生の縦割り集団をつくり、学習・生活・行事(学校・地域)等、さまざまな場面で友愛活動をしています。



自主クラスター

友愛クラスター

協創クラスター

クラスター制の主な活動とねらい

異年齢の子供たちが共に学ぶ場を設定します

縦割りで活動する場を設定します

各クラスターが自主的に目標を設定し活動します

一人一人に確かな学力を保障します

さまざまな社会性を身に付けます

自己肯定感を高め、自立を目指します

つくばスタイル科

- つくばならではの「恵まれた学習環境」と「地域の教育資源」を強みに、つくば次世代型スキルを身に付け、大きな夢と高い志を育む教育活動を展開します。
- 4つのコア・カリキュラムの内容にSDGsの視点を取り入れ、筑波山地域ジオパークを活用し、地産地消の食育なども行いながら、地域に密着した学習を進めます。

健康・安全

環境

キャリア

歴史・文化

○地域をテーマにした主な学習内容

・「秀峰筑波かるた」で地域理解・筑波山検定といばらきっ子検定の推進・「筑波山地域ジオパーク」の理解・発信



1～6年合同

秀峰筑波カルタ大会に参加しよう

4～7年合同

筑波山検定を受けよう

2023年度 秀峰筑波義務教育学校 グランドデザイン



つくば市教育目標 世界の明日をひらく社会力豊かな幼児・児童・生徒の育成

学校教育目標

自主・友愛・協創の精神にあふれた人材の育成

めざす児童生徒のすがた

高い志と広い視野をもち、郷土の未来を拓く活力ある児童生徒

本年度の教育活動スローガン

義務教育学校のよさを生かした地域とともにある学校づくり

高い志と広い視野をもち、郷土の未来を拓く活力ある児童生徒

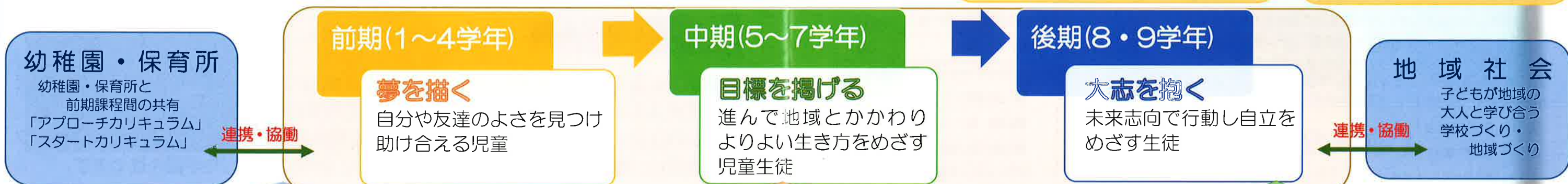
- 目標に向かい、主体的に学ぶことができる児童生徒
- 失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童生徒
- 自ら考え、行動し、未来を切り拓いていく児童生徒
- 他者とのつながりの中で豊かに生活していくことができる児童生徒

2023年度の重点

- 教科担任制による専門性を生かした授業
- ICT 機器を利活用した学びの深化
- 自己決定の場の創出と自己肯定感の涵養
- 考え、議論する道徳の充実
- ユニバーサルデザイン（焦点化・視覚化・共有化）と合理的配慮の充実
- コミュニティ・スクールの推進
- 地域を大切にする意識の涵養
- OSDGs の視点を取り入れた包摂的な教育

保護者・地域の願い

- 安心・安全な学校生活
- 通学路、バス通学、登下校班
- 子どもたちの心のケア
- 一人一人を大切にされた教育
- きめ細かな指導による学力向上
- あいさつのできる子ども
- 豊かな人間関係の構築
- 地域の特性を生かした教育



学ぶカプロジェクト

- 秀峰の授業スタイル（見通す・振り返る活動）の継続
- 参加・理解・習得・活用の階層モデルを意識した授業のUD化
- シオパークを教材化した「つくばスタイル科」の推進
- 異年齢グループ学習「つながりSTUDY」の推進
- ICTを発展的に活用した探究的な授業の実践

つながるカプロジェクト

- 異年齢クラスター制を取り入れた特別活動の実施
- 前中後期ブロックの明確な目標設定と指導の充実
- 児童生徒会・部活動を中心とした「クラスター集会」の実施
- 地区児童生徒会を活用し、地域に根差した特別活動
- SDGsの視点とつながりを意識した横断的な教育活動

豊かな心プロジェクト

- 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の実践
- 体力向上における「つながりPE」*の実施
- 生活経験を豊かにする特別支援学級間交流の推進
- 自律的生活習慣の確立のためのノーチャイムの実施
- 幼保小中高の交流学习を取り入れた情意面の育成

3つのプロジェクトを支える教育基盤

教職員の指導力向上

- 「教えから学びへ」の学びのイノベーションの推進
- 相互授業参観による授業研究の実践
- 教育的ニーズと個に応じた特別支援教育の推進

働き方改革による教育の質の向上

- ICTを活用した発展的な教育活動の推進
- 複数顧問制による部活動指導の適正化
- 日課表の再編による研究時間の創出

安心・安全な学校づくりの推進

- 「いじめ防止基本方針」の見直しと推進
- 子どもの危機回避能力を高める安全教育の実施
- 地域との連携による学校の防災力強化

* つながりPE（保健体育での交流）

【年間行事予定】

- 4月 1学期始業式 入学式 家庭確認 全国学力学習状況調査(6・9年)
授業参観 9年修学旅行(京都・奈良方面)
- 5月 体育祭結団式 6年校外学習(上高津貝塚)
市中学校陸上競技大会(7~9学年) 児童生徒総会 奉仕作業
- 6月 大運動会 つくば市総合体育大会 5年田植え 1学期中間テスト(7~9年)
3年校外学習(ミュージアムパーク) 4年社会科見学(新治浄水場・サテライト)
- 7月 6年修学旅行(日光方面) 1年校外学習(大池探検) 県南総合体育大会
1学期期末テスト 県総合体育大会 クラスター大掃除 三者面談
つくば未来塾
- 8月 8年職場体験 関東大会 全国大会
- 9月 1学期期末テスト 県南新人陸上大会 3年校外学習(スーパーマーケット)
市新人体育大会 県新人陸上大会
- 10月 1学期終業式 2学期始業式 県南新人体育大会 5年稲刈り
2年校外学習(アクアワールド大洗)
2年校外学習(福来みかん狩り体験) 4年校外学習(県庁・笠間方面)
- 11月 秀峰祭 創立記念日(6日) 5年宿泊を伴う校外学習(中央青年の家)
1学年校外学習(イキスホセンター) 9年三者面談 2年町探検
2学期中間テスト 児童生徒会選挙・任命式
- 12月 薬物乱用防止教室(6・9学年) 7年生(性)教育講演会
3年校外学習(消防署) クラスター大掃除
- 1月 学力診断のためのテスト(4~8学年) 9年学年末テスト
秀峰筑波かるた大会(1~8学年) 7学年スキー宿泊学習
9年三者面談 希望面談(1~8学年) 新入生保護者説明会
- 2月 学年末テスト(7・8学年) 学年末学年学級懇談
- 3月 県立高校入試 9年生を送る会 卒業証書授与式 修了式

【地域の行事】

- 4月 御座替祭(令和4年度は中止)
- 7月 北条・小田祇園祭 日枝神社茅輪くぐり 水守香取神社例大祭
神郡・白井祭り
- 8月 平沢官衙・多気太郎万灯
- 11月 御座替祭
- 1月 平沢官衙芝焼 小田・田中どんと焼き 飯名神社祭礼

【児童生徒数 R5.4.10 現在】

学年	人数
1年	100
2年	115
3年	94
4年	119
5年	125
6年	109
7年	107
8年	142
9年	137
計	1,048

【部活動】

野球部
サッカー部
ソフトテニス部(男・女)
バスケットボール部(男・女)
卓球部(男・女)
剣道部
バレーボール部(男・女)
陸上部
美術部
吹奏楽部
ボランティア部
自然科学部
英語部
準部活 : 水泳部 柔道部

【職員一覧】

校長:永田 孝男 副校長:村田 健一 教頭:小神野 則子、小河原 一幸
 教務主任:鬼澤 博之、永岡 歩美 副教務、生徒指導主事:池田 泰大
 保健主事:阿部 広史 進路指導主事:小林 かおり 養護教諭:石津 真理子 養護助教諭:成田 ひまり
 栄養教諭:高田 和歌子 技師:児島 亜紀 係長:石淵 由美子、大塚 恵

学年	第1学年	第2学年	第3学年	特別支援学級担任 柴田 智子・ひまわり1 松村 和・ひまわり2 岡野 政子・ひまわり3 笹浪亜希子・たんぼぼ1 石渡 美織・たんぼぼ2 山口香奈恵・たんぼぼ3 柳林 由乃・ポプラ1 香月 智慧・ポプラ2 廣岡 貴之・あすなる1 鈴木 寛・あすなる2 金子 知之・通級指導教室
1組(主任)	坂本 佐智代	鈴木 絵梨子	清浦 孝予	
2組	中澤 陽子	清宮 裕輔	石井 玲奈	
3組	板垣 碧	高平 果歩	染谷 彬大	
4組	-	阿部 広史	-	
学年	第4学年	第5学年	第6学年	副担任 田中 唯・前期 仲田 浩美・前期 大山 秀美・前期 吉原久美子・後期 田村 凱希・後期 石黒 葉月・後期 宮部 友希・後期 小松崎 茂・後期 沼尻颯太郎・後期
1組(主任)	木村 里史	飯島 佳名子	中島 圭子	
2組	古屋 綾菜	水野 帆花	姫田 雅史	
3組	佐藤 薫	渡邊 功起	大山 嘉一	
4組	山口 哲史	山口 拓也	-	
学年	第7学年	第8学年	第9学年	
学年主任	直井 誠	矢口 雄大	栗崎 藤夫	
1組(副主任)	阿久津 麻衣子	飯田 祐子	嶽本 雄太	
2組	飯泉 俊哉	高木 紀宏	小林 かおり	
3組	倉持 木綿子	尾西 奈緒佳	橋本 航平	
4組	-	佐藤 敦弥	鈴木 麻美	
拠点校指導員:池田 克美、山中美穂子 スクールサポートスタッフ:青木 俊徳 理科支援員 : 佐々木 奈保子 学校図書館司書教諭補助員 : 酒井 麻紀、高橋 めぐみ 学校管理員:山口 亜樹子、吉原 幸治 バス管理員:野澤 永子		学校サポーター : 岡野 和男、長谷川尚子 江畑 正道、笠島 昇治 本橋 思佳 フリースクール支援員:宮本 智雄 学校生活相談員:松房 恵子、今井 直子 スクールカウンセラー:安岡 春葉(県)、戸田周公(県) スクールソーシャルワーカー : 御手洗 麻亜乃 特別支援教育支援員: 瀬谷 幸枝 越後谷 陽子、桜井 陽子、浅沼 綾子 島地 智子、石井 亜希、中山 由香		

【体育祭・自主団】



【GIGA 端末活用】



【体育祭・友愛団】



【つながりスティ・PC】



【体育祭・協創団】



【つながりスティ・学習】



【特別活動の充実】



【つながりスティ・PE】



【授業風景】



GIGA 端末をコミュニケーションツールとして活用した授業実践

会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール推進会議	
開催日時		令和5年(2023年)8月24日 開会 13:30 閉会 15:30	
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校 会議室	
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課	
出席者	委員	古平恒雄、土子光之、大塚雅夫、山口里香 秀峰筑波義務教育学校： 校長 永田孝男、副校長 村田健一 教頭 小神野則子、小河原一幸 教務主任 鬼澤博之、永岡歩美	
	その他		
	事務局	教育局生涯学習推進課：課長補佐 色川純子 係長 飯島遊 社会教育主事：渡邊亮太、村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏、小島健	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0人
非公開の場合はその理由			
議題		1 これまでの学校教育活動および今後の見通しについて 2 熟議「地域とともにある学校づくり」 3 その他(コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定)	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事の確認 4 これまでの教育活動報告と今後の見通し 5 熟議 6 事務連絡・感想 7 閉会		

〈審議内容〉

1 開会

2 挨拶

- ・古平座長
- ・永田校長

3 議事の確認

- ・第1回会議内容の要点振り返り

4 これまでの教育活動報告と今後の見通し

【学校行事について】 鬼澤教務より

- ・4月以降の学校の教育活動の報告について
- ・9月以降の学校の教育活動の見通しについて

【PTA活動・地域連携活動の報告】 小河原教頭より

- ・PTA組織について
- ・4月～7月のPTA活動について
- ・学校職員からの要望について

—休憩及び準備—

5 熟議「地域とともにある学校づくり」

(1)学校でできること、家庭でできること、地域でできること、地域リソースについて、意見を出し合う。

(2)学校、家庭、地域が一体となつてできることを検討する。

【地域でできること】

- ・地域事業所で職場体験の受け入れをする。
- ・登下校の見守りや挨拶運動に参加する。
- ・学校行事へ参加する。
- ・伝統行事のPRとして学校に発信する。
- ・職場体験への協力をする。
- ・児童生徒の居場所を提供する。

【家庭でできること】

- ・ボランティア活動等で来校して、学校の教育活動を知る。
- ・PTA活動へ参加する。
- ・祭りへ参加する。
- ・積極的に近所付き合いをしたり、地域行事に参加したりする。

【学校でできること】

- ・1年生の大池探検、2年生の町探検の地域学習を3年生以上で継続していく。
- ・ジオパークを知る機会をもつ。
- ・義務教育学校の良さを生かして、後期課程が学んできたことを前期課程に発信して、児童生徒の学びを継承する。
- ・教員も地域について学ぶ。

【一体となることができること】

- ・植物をみんなで育てたり、野菜や花を育てたりする。
- ・本物に触れる機会をもつ。
- ・地域人材が授業に積極的に参加し、学校はリソースを生かした授業を展開する。

【秀峰筑波義務教育学校がある地域のリソース】

- ・平沢官衙 ・矢中の杜 ・どんど焼き ・北条ふれあい館

—休憩及び準備—

6 事務連絡・感想

【事務連絡】

令和5年11月28日（火）午後開催予定

【感想】

- ・教職員も含めて、地域を知る機会が重要であることを実感した。（校長）
- ・バスでの登下校の児童生徒が多い。地域のことを知る機会をもち、学んだことを地域に発信していくことが大事だと思う。（山口）
- ・北条の地元の良いところを見つけて、びっくりしてほしい。地域の人から文化財を知る機会をもってほしい。教員が感動する気持ちをもって、伝えてほしい。（本会議は）地域からの参加が少ないとさみしいため、教育委員会、会議のメンバーが参加しやすい時間帯を設定してほしい。（大塚）

7 閉会

令和5年度

第2回 秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和5年8月24日（木）

13：30より

場所：秀峰筑波義務教育学校 会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議事の確認

4 協 議

(1) これまでの学校教育活動および今後の見通しについて

(2) 熟 議

(3) その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

5 閉 会

令和5年度 秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議・協議会
 (第2回： 8月24日 木曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(1) 児童・生徒の保護者	古平 恒雄	こだいら つねお	本校元PTA会長	出席予定
2	(2) 地域住民	飯村 仁	いいむら ひとし	元菅間小学校PTA副会長	欠席
3	(2) 地域住民	小久保 貴史	こくぼ たかし	つくば市議会議長	欠席
4	(2) 地域住民	土子 光之	つちこ てるゆき	本校元PTA会長	出席予定
5	(2) 地域住民	山口 里香	やまぐち りか	元田井小学校評議員	出席予定
6	(3) 学識経験者	遠藤 知昭	えんどう ともあき	元吾妻小学校校長	欠席
7	(3) 学識経験者	大塚 雅夫	おおつか まさお	元北条小学校長	出席予定
8	(3) 学識経験者	鮎川 誠	すけがわ まこと	元大徳中学校長	欠席
9	(4) 教職員	永田 孝男	ながた たかお	本校 学校長	出席予定
10	(4) 教職員	村田 健一	むらた けんいち	本校 副校長	出席予定
11	(4) 教職員	小神野 則子	おかの のりこ	本校 教頭	出席予定
12	(4) 教職員	小河原 一幸	こがわら かずゆき	本校 教頭	出席予定
13	(4) 教職員	鬼澤 博之	おにざわ ひろゆき	本校 教務主任	出席予定
14	(4) 教職員	永岡 歩美	ながおか あゆみ	本校 教務主任	出席予定

P T A 組織

本部役員(会長・副会長・書記・会計等)

学年委員 (P T A 奉仕作業、児童生徒の教育活動支援等)

広報委員 (学校行事の記録及び広報誌の編集・発行等)

体育委員 (運動会・体育祭の会場準備や駐車場整理等)

地区委員 (児童生徒の登下校の安全確保等)

環境整備委員 (P T A 廃品回収等)

4～7月のP T A 活動

- ・ 登下校時の安全確保 (地区委員、見守りボランティア)
- ・ 運動会(6/1・8) ※駐車場確保
会場設営(学年委委員・体育委員)、駐車場誘導(体育委員)
受付(学年委員)、記録・写真撮影(広報委員)
- ・ 地域の祭り巡回(7～8月) (各地区毎)
- ・ 廃品回収(11/25)の計画 (環境整備委員)

学校職員からの要望 (地域人材バンクがあれば、授業で活用したい)

- ・ 授業支援 A (児童生徒の学習時の安全確保のための見守りも含めて)
刃物等を扱う実験実習又は身体活動など危険を伴う授業の補助
家庭科 (調理実習・裁縫等)
図画工作科 (工作や版画等)
理科 (実験・観察等)
体育科 (水泳・器械体操時の見守り)
野外散策生活 (まちたんけん)
- ・ 授業支援 B (専門的な知識・技能をもとにした助言指導)
つくばスタイル科年間指導計画参照

会 議 録

会議の名称		令和5年度第3回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和5年(2023年)11月28日 開会 13:00 閉会 15:00		
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校 会議室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古平恒雄、土子光之、遠藤知昭、山口里香、鮎川誠 秀峰筑波義務教育学校： 副校長 村田健一 教頭 小神野則子、小河原一幸 教務主任 鬼澤博之、永岡歩美		
	その他	教育委員 柳瀬敬、和泉なおこ 秀峰筑波義務教育学校 第8学年生徒5人		
	事務局	教育局教育次長： 久保田靖彦 生涯学習推進課 社会教育主事：渡邊亮太、村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏、小島健		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 これまでの学校教育活動および今後の見通しについて 2 熟議「地域とともにある学校づくり」 3 その他(コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定)		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事の確認 4 協議 (1)熟議(2)授業等の参観(3)これまでの教育活動について(4)その他 5 閉会			

〈審議内容〉

1 開会

2 挨拶 ・古平座長 ・村田副校長

3 記録者選定 ・永岡歩美 教務主任

4 議事の確認 ・第2回会議内容の要点振り返り

5 熟議「地域とともにある学校づくり」

○代表生徒の自己紹介

○第2回熟議の振り返り

・実態

・学校でできること

・家庭でできること

・地域でできること

・学校・家庭・地域が一体となってできること

○児童生徒による話し合いのまとめ報告

秀峰筑波の児童生徒の良さ・・・明るい、元気、優しい、素朴で純粋
上級生と下級生との関係が良好

秀峰筑波の児童生徒の課題・・・外交的とは言えず、主張が少ない
流されやすい

『学校でできること』

・全校生徒に向けて「地域のクイズ」をする。

・地域の方とあいさつ運動をする。

・地域の方と一緒に給食を食べる。

・地域の方と木を植える。

・地域の方と祭りで食べ物を売る。収益金でまた植物を買う。

『家庭でできること』

・地域の魅力を紹介するパンフレットを作る。

・廃品回収を行う。

・地域や学校であったことについて新聞を作成して配付する。

『地域でできること』

・生徒の下校時に防災無線で注意喚起をする。

・子ども会の頻度を増やす。

・地域の人と学校の草取りをする。

『一体となってできること』

・地域の人と関わる機会を増やす。

・地域と学校であいさつ運動をする。

- ・地域の人たちと一緒に学校で使える椅子や机を作る。

委員からの質問・感想

- ・なぜ木を植えようと思ったか？
⇒学校の窓が多いので、窓から外を見たときに、四季を感じたい。
- ・生徒の意見は、大人の意見とはまた違う意見があり良い。
- ・秀峰筑波の学区の魅力はなんですか？
⇒学校から筑波山や見える。
自然が豊かで、心が豊かになる地域である。
お米がおいしい。
- ・学校の手伝いをして、生徒と一緒に活動しながら、生徒から出た意見をぜひ実現させていきたい。
- ・生徒とともに地域を知っていききたい。
- ・部活には全員参加していますか？
⇒入りたい人が入っている。
- ・部活動、児童生徒会で忙しいと思うが、休日は何をしているか？
⇒友達と小田城近くなどでサッカーをしている。
部活動が多いが、オフの日は勉強したり友達と遊んだりしている。
友達と遊ぶ、ゲーム、プラモデルをしている。
Youtube 視聴、ダンス、体を動かすようにしている。
部活動が多い。友達と遊んだり、塾の課題をしたりしている。
- ・自分の時間は取れているか？地域の活動に時間はとれるか？
⇒時間は取れる。地域と関わることは嫌ではない。
- ・とても頼もしい生徒。地域の祭りに一緒に参加することを考えていきたい。
- ・忙しい中ではあるが、地域の関わりを大切にして、地元愛を育ててほしい。

『地域リソース』

- ・筑波山 ・筑波山神社 ・平沢官衙遺跡 ・北条米アイスクリーム
- ・かりんとう饅頭 など

—休憩及び準備—

6 授業公開

—休憩及び準備—

7 本校の学園教育活動の報告と今後の見通し

- ・新人戦の結果について
- ・秀峰祭の様子について

8 PTA 活動・地域連携活動の報告

- ・ 2年生の「町探検」について
- ・ 廃品回収について

9 学校評価結果の報告

- ・ 保護者、児童生徒、教職員のアンケート結果は、保護者にも共有している。
- ・ 学校教育活動全体を通して、意識して取り組む点を明確にしている。
- ・ 児童生徒の評価と教職員の評価に結果に差があるところが課題であり、今後改善が必要である。
- ・ 各学年で作成している「目標達成実現シート」をもとに教育活動を展開している。

10 事務連絡・感想

【事務連絡】

第4回令和6年2月22日（木）午後開催予定（スクリレで周知予定）

【感想】

特になし

11 閉会

令和5年度

第3回 秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和5年11月28日（火）

13：00より

場所：秀峰筑波義務教育学校 会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議事の確認

4 協 議

(1) 熟 議

(2) 授業等参観

(3) これまでの教育活動について

(4) その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

5 閉 会

冊 冊 冊

永田 孝男	鮭川 誠	大塚 雅夫	遠藤 知昭
村田 健一			山口 里香
小神野 則子			土子 光之
小河原 一幸			小久保 貴史
鬼澤 博之			飯村 仁
永岡 歩美			古平 恒雄

学校代表生徒 5 名
川端陽太 大久保輝竜 栗山信太郎 宮本仁瑚 安田朱里

PC・モニタ等

ホワイトボード

出入口

冊 冊 冊

冊 冊 冊

永田 孝男	鮎川 誠	大塚 雅夫	遠藤 知昭
村田 健一			山口 里香
小神野 則子			土子 光之
小河原 一幸			小久保 貴史
鬼澤 博之			飯村 仁
永岡 歩美			古平 恒雄

座長	副座長
----	-----

PC・モニタ等
ホワイトボード

出入口

[教育目標:自主・友愛・協創の精神にあふれる人材の育成]

[組織目標:互いのよさを認め合い、主体的に行動できる児童生徒の育成を図る]

項目	評価項目 (A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない)	R5.7月 A+B		
楽しい学校	楽しい学校	教職員 いじめのない、心の居場所となる学年学級となるよう心がけている。	100%	
		児童 毎日学校に行くのが楽しみである。	83%	
		保護者 お子さんは学校に行くことを楽しみにしている。	88%	
	素直な心	教職員 人の話を素直に聞くことができる児童生徒の育成に努めている。	100%	
		児童 人の話を素直に聞いて行動することができる。	92%	
	協力	教職員 友達と協力し、仲良く活動できる児童生徒の育成に努めている。	100%	
		児童 友達と仲良く生活できている。	96%	
		保護者 お子さんは友達と仲良く生活できている。	96%	
	自己肯定感の醸成	教職員 児童生徒のがんばりを認め、自己肯定感を育むよう努めている。	100%	
		児童 先生は、一人一人のがんばりを認めてくれている。	95%	
	ルールやマナー	教職員 児童生徒にルールやマナーの大切さを伝えている。	100%	
		児童 ルールやマナーを守って生活している。	95%	
	確かな学力の育成	わかる授業	教職員 学習内容を理解できるよう、授業全体のUD化を進め、一人一人を大切に教育を実践している。	92%
			児童 授業では、学習している内容が分かる。	92%
			保護者 お子さんは楽しく学習に取り組んでいる。	75%
		学習のめあて	教職員 「ねらい」を児童に明確に示し、「見通し」をもたせ、ゴールの姿を児童に伝えている。	94%
			児童 授業のはじめに、「この時間は何をするのか」という課題やめあてを確認してから学習をしている。	85%
		学習のまとめ	教職員 授業時間内に「まとめ」「振り返り」を行わせ、全体で共有するなどしている。	90%
児童 授業の終わりには「まとめ」や「ふりかえり」をしっかりと行っている。			76%	
聞く・考えること		教職員 児童一人一人が自分の意見をもつことができるよう、相手の意見をよく聴く指導を継続している。	100%	
		児童 話し合いでは、友達の意見をよく聞いて、自分の考えや意見をもつことができている。	87%	
		保護者 お子さんは、友達や家族の話をよく聴いて、自分の意見や考えをもつことができている。	84%	
話す・書くこと		教職員 児童が自分の考えを表現できるよう、話したり書いたりする指導をしている。	100%	
		児童 授業中、自分の考えや意見を、みんなに分かるように話したり書いたりすることができている。	73%	
		保護者 お子さんは、自分の意見や考えを書いたり話したりして表現することができる。	74%	
話し合い		教職員 話し合いでは教師がファシリテーターとしての役割を務め、児童の考えを引き出している。	92%	
		児童 話し合いでは、友達と考えや意見を伝え合うことで、深めることができている。	83%	
		保護者 お子さんは、話し合うときに自分の考えを伝えたり相手の意見を聞きいれながら話し合いを深められる。	71%	
課題の解決		教職員 教師がしゃべりすぎず、児童の活動時間を保障している。	90%	
		児童 ペアやグループで話し合いながら問題を解いたり、課題を解決する授業が好きである。	76%	
計画的な家庭学習	教職員 計画を立て自主的に家庭学習を進められるよう、工夫して手立てを講じている。	84%		
	児童 家庭学習は自分で計画を立てて進めている。	71%		
	保護者 お子さんは、自分で計画を立てて学習できる。	55%		
読書	教職員 学校や家庭での読書習慣を身に付けさせるように指導をしている。	82%		
	児童 学校や家で、進んで読書をしている。	50%		
	保護者 お子さんは、よく読書をしている。	41%		
パソコン	教職員 児童にパソコンを使わせて意見をまとめさせたり、調べさせる指導をしている。	80%		
	児童 授業の中で、パソコンを使って、調べたり、自分の意見をまとめたりすることが好きである。	76%		
ICT	教職員 パソコンを持ち帰らせるときには、使い方や学習の方法について指導している。	88%		
	児童 家でパソコンを使って、計画的に学習している。	48%		
	保護者 お子さんは、家庭に持ち帰ったパソコンを使って、学習を進めることができる。	63%		
ICT	教職員 端末の操作やソフトの使い方などを児童に指導することができる。	84%		
	児童 家に持ち帰ったパソコンの操作は自分でできる。	89%		

項目	評価項目 (A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない)		R5.7月 A+B
	目標の明確化	教職員	学校行事の事前・事後指導を充実させ、児童に目標をもたせて取り組ませている。
児童		学校行事では、目標をもって取り組んでいる。	89%
保護者		お子さんは学校行事に目標をもって取り組んでいる。	79%
自主性	教職員	話し合い活動を充実させ、自己決定できる集団の育成のため指導している。	100%
	児童	学級活動では、よりよい学級にしようと、自分たちで話し合うことができる。	76%
自己有用感の醸成	教職員	児童の自己有用感を育成するため、活動や機会を意図的に仕組んでいる。	92%
	児童	学級での役割や学校行事の仕事を通して、自信がついたことがある。	75%
	保護者	学校は、学級での役割や学校行事を通して、お子さんの良さを伸ばす指導をしている。	87%
主体性の育成	教職員	当番の仕事や清掃の意義を理解させ、率先垂範して取り組んでいる。	82%
	児童	学級の係や委員会活動では、みんなのために自分ができることを考えて取り組んでいる。	78%
勤労奉仕	教職員	当番の仕事や清掃の意義を理解させ、率先垂範して取り組んでいる。	100%
	児童	当番の仕事やそうじに、すすんで取り組んでいる。	93%
自己肯定感の醸成	教職員	普段から児童のよさを見つけ、認め励まし伸ばす指導をしている。	100%
	児童	自分には、よいところ・自信があるところがある。	84%
努力	児童	苦手なことでも努力しようとしている。	77%
あいさつの励行	教職員	普段から気持ちのよいあいさつができる児童の育成のため、率先垂範している。	98%
	児童	気持ちのよいあいさつを自分から進んでしている。	79%
	保護者	お子さんは、自分から進んであいさつをしている。	75%
相手の気持ち	教職員	児童生徒が相手の気持ちを考えて行動できるよう、意識して教育活動を展開した。	96%
	児童	相手の気持ちや立場を考えて行動している。	89%
	保護者	お子さんは、相手の気持ちを考えて行動できる。	87%
教育相談	児童	先生は、相談にのってくれている。	90%
道徳	教職員	資料を活用し、「考え、議論する道徳」の実践をしている。	82%
	児童	道徳の授業で考えたことは、自分のためになっています。	81%
道徳	教職員	資料を活用し、「考え、議論する道徳」の実践をしている。	90%
	児童	道徳の授業で考えたことは、自分のためになっています。	85%
家庭での役割	児童	家で手伝いやそうじなど自分の役割・仕事を進んで行っている。	74%
	保護者	お子さんは家庭で手伝いやそうじなど自分の役割・仕事を進んで行っている。	63%
運動量の確保	教職員	休み時間の外遊びを奨励し、進んで運動できるよう支援をしている。	66%
	児童	休み時間は、進んで外で元気に遊んでいる。	54%
	保護者	お子さんは外で元気に遊んだり、運動をしている。	67%
手洗い・うがい・歯磨きの習慣化	教職員	児童が自ら病気や感染から身を守る生活ができるよう指導をしている。	94%
	児童	手洗い・うがい・歯磨きをしっかり行い、病気になるように生活を送っている。	89%
	保護者	お子さんは、手洗い・うがい・歯磨きをしっかり行い、健康的な生活を送っている。	85%
安全・安心意識の高揚	教職員	事前に目的やねらいを十分に指導し、真剣に取り組む態度の育成を図っている。	100%
	児童	避難訓練や交通安全教室には、毎回真剣に取り組んでいる。	94%
	保護者	学校は交通安全・生活安全指導を行い、安全な学校生活の確保に努めている。	96%
朝食摂取率	教職員	児童生徒が「早寝」「早起き」「朝ごはん」ができるよう、意識して教育活動にあたった。	88%
	児童	早寝早起き朝ごはんができています。	84%
	保護者	お子さんは、「早寝」「早起き」「朝ごはん」が身に付いている。	77%
保護者・地域との連携	教職員	学校生活での問題について、子どもや保護者の話をよく聞き、適切に対応している。	100%
	保護者	学校は、学校生活での問題について話をよく聞き、適切に対応している。	89%
	教職員	学校だより・学年だより・スクリーン等を活用し、情報発信に努めている。	90%
	保護者	学校からの配布物やスクリーン・配信メール等は学校の情報を得るために役立っている。	96%
	教職員	保護者や地域の協力を得て、教育活動の充実のために取り組んでいる。	92%
	保護者	各種のPTA活動や奉仕作業・学年行事等のボランティアを通して、教育活動に協力している。	84%
	保護者	学校行事や授業参観、個別面談等の参加により、日頃の学校の様子が把握できる。	91%

心の教育の充実

健康・安全・防災教育の充実

信頼される学校づくり

会 議 録

会議の名称		令和5年度第4回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年(2024年)2月22日(木) 開会 12:30 閉会 14:00		
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校 会議室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古平恒雄、土子光之、遠藤知昭、山口里香、鮎川誠、大塚雅夫、飯村仁 秀峰筑波義務教育学校： 校長 永田孝男、副校長 村田健一 教頭 小神野則子、小河原一幸 教務主任 鬼澤博之、永岡歩美		
	その他	県立筑波高等学校 校長 石塚照美 秀峰筑波義務教育学校第8学年生徒5人		
	事務局	生涯学習推進課長： 澤頭由紀子 生涯学習推進課係長： 飯島 遊 社会教育主事：渡邊亮太 地域連携教育指導員：酒井和宏、小島健		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 熟議 ・これまでの話し合いをもとにした意見交換 ・代表児童による「秀峰筑波フォトコミュニティ」の提案 2 第2回学校評価について 3 これまでの教育活動・PTA活動について 4 その他		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議	1 開会 2 挨拶 3 議事の確認			

次第	4 協議
	(1) 熟議
	① これまでの話し合いをもとにした意見交換
	② 代表生徒による提案
	(2) 第2回学校評価結果について
(3) これまでの教育活動・PTA活動について	
(4) その他	
5 閉会	

〈審議内容〉	
1	開会
2	挨拶
	・古平座長
	・永田校長
3	議事の確認
	・第3回会議内容の要点振り返り
4	協議
	(1) 熟議
	① これまでの話し合いをもとにした意見交換
	・地域との関わりのある活動について
	1年大池探検、保幼小連携・2年福来みかん狩り、町探検
	3年スーパーマーケット学習、4年稚魚放流、5年稲作
	8年職場体験、廃品回収、植樹作業、読み聞かせや昔遊びのボランティア、登下校の見守り
	・生徒の意見とCS推進委員との意見の重なりについて
	・地域社会から学校への協力や協働について
	・学校から地域社会への参加や貢献について
	② 代表生徒による提案
	・前回の話し合いから地域とできることややってみたいことについて
	・児童生徒会のスローガン紹介「Exciting Future ココロ踊る学校」
	・学年での取組の紹介

- ・『秀峰筑波フォトコミュニティ』について
⇒フォトコンテストの開催、フォトスタジオの設置
⇒興味・関心の高まり、会話のきっかけづくり
- ・『感謝マップの制作』について
⇒職場体験でお世話になった事業所に向けての感謝の気持ちの表現

【意見】

大塚…「矢中の杜」は秀峰筑波の学区の誇りとなる場所なので、ぜひ訪れて、生徒のみなさんにも盛り上げてほしい。筑波高校や旧北条小はすでに繋がる場所。

鮭川…写真を通じて魅力を発信するのは素晴らしい取組。外に出ることが難しい高齢者の家庭の人たちにも広報になる。ネットだけでなく、紙で印刷したものは区長等を通して発信すると広まっていく。

遠藤…感謝マップは素晴らしい取組。大谷翔平のグローブの写真からも学校の様子が伝わってきた。職場体験の感謝マップはこれまでの発想になかったもの。行事の写真などは、ブラッシュアップしながらやっていくと良い。

山口…ジャンピングボードを知らなかったが、写真で見ることで知ることができた。何か良いことがあった時も、ストリートビューのような形で発信すると良い。

土子…他の地区での出来事を知る機会になる。回覧板で回すこともできるが、何か他の方法も考えていく。

飯村…グーグルマップを活用しても良い。高齢者にも届く発信方法があると良い。SNSも活用できる。

古平…広い範囲のマップで知らないことも知る機会になった。

【感想】

川端…感謝マップは発信の仕方を考えていきたい。

大久保…SNSを使って感謝マップの発信をしたい。

栗山…みなさんの意見をもとに広めていきたい。

宮本…地域のみなさんに支えていただいていることが分かった。魅力を発信していきたい。

安田…今日の意見を今後の生徒会活動に活かしていきたい。

永田校長…矢中の杜に足を運べるPRの仕方があると良い。

渡邊社会教育主事…本日の発表は生徒の参画は義務教育学校ならではの取組で良い。各地域の良さが伝わると良い。学校の中心となって頑張ってもらいたい。

(2) 第2回学校評価結果について

- 今後の課題…分かる授業、計画的な家庭学習、読書、目標をもつ、あいさつ、朝食摂取率、家庭での役割、運動量

(3) これまでの教育活動・PTA活動について

○今年度の活動

- ・登下校時の安全見守り（地区委員）
- ・運動会協力（体育委員・学年委員）
- ・広報活動（広報委員）
- ・学年の教育活動協力（学年委員）
- ・家庭教育活動（1・7年学年委員）
- ・廃品回収（環境整備委員）

○ご協力を仰ぎたいこと

- ・廃品回収場所の使用許可や確認でCSの助言や協力
- ・各教科や総合的な学習の時間等において地域人材や資源の活用（地域人材や資源の紹介）

【質問】

大塚：地域人材バンクはどうなっているか？地元には人材が揃っているので活用してほしい。地元にはどんな人材がいるのか？という疑問をもつことから生徒が調べることができる。

(4) その他

5 閉会

鮭川…「学校から地域へ」が難しいことが分かった。働き方改革もあり、難しいこともあり、課題だと思う。地域でできることが増えると教員の負担軽減につながるということが分かった。

永田校長…地域と学校が協力する場面と切り離す場面がある。地域の方々をお願いすることが増えることもあるのでお願いしたい。

令和5年度

第4回 秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和6年2月22日（木）

12：30より

場所：秀峰筑波義務教育学校 会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議事の確認

4 協 議

(1) 熟 議

①これまでの話し合いをもとにした意見交換

②代表生徒による「秀峰筑波フォトコミュニティ」の提案

(2) 第2回学校評価結果について

(3) これまでの教育活動・PTA活動について

(4) その他

5 閉 会

傍聴席

永田 孝男	鮎川 誠	大塚 雅夫	遠藤 知昭
村田 健一			山口 里香
小神野 則子			土子 光之
小河原 一幸			小久保 貴史
鬼澤 博之			飯村 仁
永岡 歩美			古平 恒雄

座長	副座長
----	-----

PC・モニタ等

ホワイトボード

出入口



地域とともにある学校づくり

R6.1.22

秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール(CS)推進会議

「秀峰筑波をどんな学校にしていきたいか」「どんな子どもたちを育てていきたいか」「子どもたちにどんな力を身に付けてもらいたいのか」そんなことを話し合う「CS協議会」の令和6年度の本格導入に向けて、準備を進めています。この1年間の「秀峰筑波CS推進会議」（準備会議）の取組をまとめました。



< CS推進会議の構成メンバー >

- ・地域の方4人
 - ・学識経験者3
- 合計14人



第1回推進会議 5月26日(金)

熟議テーマ 「秀峰筑波の今の子どもたちはどのように見えますか？」

→はじめに、グランドデザインをもとに、教育目標・目指す児童生徒像について共通認識をもちました。熟議では、「つながる」をキーワードに、**今の子どもたちはどのように見えるのか、活発な意見交換**が行われました。その後、子どもたちの授業の様子を参観しました。



第2回推進会議 8月24日(木)

熟議テーマ「地域とともにある学校づくりのために、具体的に何ができるだろうか」

→**地域資源の洗い出しや地域や保護者のできる事**について確認しました。また、学校側からも、サポートを求めている内容等を明らかにして、マッチング案を作りました。

★**人材や産業、文化など、予想より多くの地域資源**が明らかになりました。今後、どのような形で、**学校の教育課程に取り入れていくかが課題**となりそうです。



第3回推進会議 11月28日(火)

熟議テーマ「本校代表生徒との意見交換会 地域とともにある学校づくりのために、何ができるだろうか」

→**地域・保護者と学校がそれぞれWIN-WINな関係**になり、共に発展していくためには、何ができるか。**これからの地域を背負っていく子どもたちとの貴重な意見交換**ができました。

★**子どもたちのリアルな意見**を聞き、これからの学校運営で重点化すべき方向が明らかになってきました。新たな視点や示唆を頂きました。

※第4回推進会議は、2024年2月22日(木)を予定しています。

・本年度の教育活動や学校評価等についての報告、次年度に向けた協議を検討しています。

～地域・保護者の皆様のご協力 いつもありがとうございます～

地域の方々には、本校の教育活動の充実のために、日頃より多大なご協力をいただいております。来年度のCS協議会で「地域とともにある学校づくり」のコンセプトのもと、これらの活動をさらに充実・発展させていきたいと思っております。以下に、活動の一例をご紹介します。

- 毎日の登下校見守り活動
- あいさつ運動への参加
- 読み聞かせ活動
- 学校周辺の清掃・草取り
- 廃品回収
- 窓ふき・大掃除への参加
- 学校行事の際の交通整理
- ゲストティーチャーとして授業等へ協力
- 地域・町探検の協力
- 校外学習での安全確保ボランティア
- 地域資源を生かした体験活動
- 職場見学・職場体験の協力
- 親子活動の企画運営 等

